



山桜

高階西中だより 第19号

平成27年10月30日

川越市立高階西中学校

かけがえのない仲間との最初で最後のステージ

本気で歌う その瞬間かけがえのない感動を味わえる
その感動は 自分が生きていくうえでかけがえのない力に変わる
そんな時が必ずやってくる

～明日合唱コンクール。本気で取り組む姿、期待しています～

校長 長井正邦

いよいよ合唱コンクール前日となりました。全ての学年・学級が様々に工夫して、真剣に練習に取り組んできました。

これまでの練習期間は、決して平坦な道でなかったと思います。歌うことが好きな人もいれば、歌うことが好きでない…どちらかと言うと嫌いな人もいるかもしれません。音をとることが得意な人もいれば、得意でない人もいるはずです。

意見の食い違いから、学級の雰囲気が悪くなった時期もあったはずですが、先生に注意されて、練習が思うようにできない日もあったと思います。何となく練習に身が入らない時や体調の優れない時もあったことでしょう。

それでも、皆さん一人一人が自分の役割や責任を果たそうと努力してきました。実行委員の人は、練習期間中何度投げ出したくなったことでしょうか。自分の気持ちが思うようにクラスメートに伝わらず涙を流した人もいるはずですが、指揮者の人は、何度指揮を振ったことでしょうか。練習を繰り返すたびに何度も何度も、指揮を振り続けました。伴奏者の人も同様です。夏休み前から練習に励んでくれました。個人的な練習や学級での練習を合わせて、きっと演奏した回数は数百回、いや千回を上回っているかもしれません。学校での練習にしても、一回一回が真剣勝負で緊張の連続だったはずですが、そうした過程を経て、今の皆さんが、今の学級が存在しています。明日は、キラリふじみ大ホールという素晴らしい会場で、自分たちで創りあげてきた自分らしい、自分の学級らしい合唱を披露してください。

私は、「本気で歌う、その瞬間かけがえのない感動を味わえるものが合唱だ」と考えています。ステージでの合唱は一度きりです。録画したり録音したりして、繰り返し観たり聴いたりすることは可能かもしれませんが、しかし、クラスメートと共に創り出す合唱を、直接自分自身で感じ取ることができるチャンスは、たった一度だけです。キラリふじみという会場で「今のクラスメートと創りあげる最初で最後のステージ」となります。人生で一度きりのかけがえのないチャンス、しかもわずか10分間程度の限られた時間だけです。

皆さん一人一人が「本気で歌う」ことができたときにだけ、創り出すことができる感動です。学級の誰もが本気になり、気持ちを合わせなければ創れない感動です。

目には見えない、形にも残らない、しかし、クラスメート一人一人の心の中にしっかりと残る…そんな感動を味わってください。その感動は、皆さんが生きていくうえでいつまでも色あせずに、何年か経って大人になってもふと思い出すことができる…そんな素敵な宝物になります。

皆さんならできます。

本気で歌い、一生の宝物を手にしてください。

期待しています。



保護者・御家族の皆様へ

子供たちが真剣に、本気で取り組む合唱を是非御覧ください。

子供たちが練習の成果を存分に発揮できる「コンクールを創りあげたい」と思います。

皆様の御理解と御協力を何卒よろしくお願いいたします。

(校長)

各学級で「自由曲のめぐり」を作成しました。曲想を表現した素晴らしいめぐりが完成しました。
(クラス番号順)

1年生



2年生



3年生



※紙面サイズの都合で、縦横比を変更しています。